



国営ひたち海浜公園  
PRESS RELEASE

# 「海浜陶芸塾第八期開講」 塾生募集 について

謹啓

向暑の候 皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、平成14年1月からスタートした「海浜陶芸塾」は、開講後3年余りが経過します。「海浜陶芸塾」の行われる工房は、昨年オープンした海浜口よりほどちかい海を望む砂丘ガーデンの一角の、潮風がそよぐ松林の中にあります。

身近にあふれる自然にふれながら、ゆったりとした時間のなかで創作する喜びを感じることができます。工房には「電気窯」「登り窯」があり、成形から乾燥、素焼き、釉薬付け、本焼きまでの一連の陶芸体験が可能です。講師は笠間の陶芸作家のみなさんです。現代陶芸・伝統陶芸など、一人一人が独創的な作風を持つ魅力的な作陶を学ぶことができる塾です。

このたび第8期開講にあたり別紙のとおり塾生を募集する運びとなりました。

つきましては、御多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしくお願い申し上げます。

謹白



撮影：平成16年12月19日

## お問い合わせ先

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4  
ひたち公園管理センター企画課 穂積・田中・稲山  
電話 (029) 265-9005 FAX (029) 265-9339  
お客様問い合わせ番号 (029) 265-9001  
ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp>



～8人の作家による海浜陶芸塾～

【第八期】(平成17年7月13日(水)～平成18年6月24日(土))

参加のご案内

● はじめに

海浜公園では、平成13年7月20日に砂丘ガーデンがオープンし、同年秋「登り窯」が完成しました。この登り窯を作るにあたって笠間の作家の皆さんにご協力をいただきました。そして、この縁がきっかけで登り窯をより活発に活用することを目指し、作家の皆さん自らによる陶芸塾を平成14年1月に開講する運びとなりました。陶芸の魅力にとりつかれた芸術家たちの熱意がこの塾の講師陣に表れています。どのような塾になるか？は、作家と塾生の皆さんにかかっています。土を捏ね、焼く。とてもシンプルな作業の中から素敵な作品が数多く生まれることを願っています。

● 海浜陶芸塾の特徴

海浜陶芸塾には3つの特徴があります。

① 笠間焼きを代表する陶芸作家8人が2人ペアになり、曜日毎に個性的な“塾”を展開します。

例えば：海浜公園特有の陶芸活動

○砂や石を混ぜる・・・野焼きなど

○公園内の素材を利用・・・樹木、植物、石、貝

○海浜植物を意識した器づくり・・・植木鉢など

○フィールドを生かした活動・・・野外アート、野焼きなど

各曜日クラス合同で制作

・ たとえばピースモニュメントなどの合同制作

・ グラスハウスや砂丘ガーデンなど公園内の建物や自然空間を使って展示会の開催

② 初心者から熟練者、そして整形から釉薬付け、本焼きまで様々なご要望にお応えできる塾です。

③ 年に1回、登り窯を使用した本焼きを実施します。薪窯でしか作り出せない作品を作っていました。

● 講師陣

水曜日 羽石 修二・菊地 弘 金曜日 佐藤 泰正・田山 健司

木曜日 馬場 浩二・中村 考夫 土曜日 筒井 修・清水 正章

● 実施日 毎週水・木・金・土(好きな曜日を選択してください。)

● 時間 10:00～15:30

● 募集定員 各曜日10名

※お申し込みの際に希望される曜日をお申し付けください。

● 締め切り 6月25日(土)まで

※応募者多数の場合は、抽選により決定します。

● 参加料金 1回2,000円(月払い、入園料・駐車料金別途必要です。)

● 材料費 粘土代 1,000円/10kg

● 陶芸塾の内容

◎ プログラムについて

各曜日の講師が大まかなテーマを設定します。

決まったものを皆さんで同時に作るのではなく、自由に作品を作っていただきます。

陶土に砂丘の砂を混ぜたり海浜公園オリジナルの焼き物を研究していく予定です。

◎ 登り窯の使用について

6月に“まき窯焼成”を行います。

陶芸塾の皆さんは優先的に作品を焼くことができます。

まき窯の焼成は、別途、焼成代をいただきますのでご了承ください。

【海浜公園の登り窯の特徴】

穴登り窯というタイプで、奥の部屋では釉薬を使った作品、手前の部屋では自然釉的な作品のできるものです。薪は海浜公園で発生する間伐材を使用します。

◎ 作品の発表について

砂丘ガーデン内、海の眺められる休憩所「グラスハウス」にて、展示会を行います。